

2025年度からSE校として取り組むにあたって・・・

★前年2024年度には★

研究教科「算数」一年目

- ・「個が輝く授業づくり」のために、「思考ツール」の重要性を確認。
(テープ図・ドット図・数直線図・数直線・イメージ図)
- ・夏季校内研で樋口万太郎先生による算数研修。
- ・6年生のゴールに向けて、1年生からノートを中心とした取り組みを、次年度から計画的に行うことを共通認識する。

「学習用具のきまり」

研修部から、子ども達に筆箱の中身についてお話をします。2025年度から、児童全員が学習道具をきちんと揃えてスタートできるように…(視覚支援のためにも、赤・青の鉛筆の徹底。)

★2025年度4月～★

SEより提案

- ・よりキャッチーなテーマを全職員で考える。
- ・月1回のSE交流
- ・1～2年生⇒算数専科による授業参観・相談会 3～6年生⇒算数専科による習熟度別授業
- ・ノート指導の徹底⇒算数専科がノート案を配布し、コースが違っていても同じ引き出し(問題解決をするための手立て)をつくれるようにする。

昨年度から引き続き取り組んでいるもの

- ・指導案には「授業者の熱い思い」を⇒校内研究授業の指導案を作成する際には、個が輝く授業づくりのために、指導者がこだわったポイントを明確にする。
- ・研究授業後の討議会⇒グループ討議後は、学年で集まる時間を確保し、次の校内研までに取り組むこと・継続することを明確にする。
- ・朝学の充実⇒思考ツールの定着のためのプリント準備。昨年度は『イメージトレーニングドリル』(出典：かもがわ出版)の活用。